

告 辞

本日、令和初の大分工業高等専門学校本科第五十三回卒業式並びに専攻科第十六回修了式を挙げるにあたり、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、本式典の開催の可否についてぎりぎりまで検討して参りましたが、出席者人数を制限し、式典時間を短縮するとともに、考える感染拡大防止の諸対策を講じて、ここに開催する運びとなりました。本日ご参列戴きました卒業生並びに保護者の皆様、そして残念ながら、参加をご遠慮いただきましたご来賓や在校生の皆様には、ご理解、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。

ただ今、卒業証書とともに準学士の称号が授与されました本科卒業生百四十七名の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。皆さんは、期待と一抹の不安を抱えて本校に入学してから五年間、本校の掲げる教育目的を達成するため、体系的に編成された基礎および専門の授業や実験・実習などを通して実践的な専門技術を学び、さらに卒業研究により未知の課題に取組み、解決する力を修得されました。また同時に、日々の学校生活での先生方や友人との交流、部活動などの課外活動を通じて、人間性を磨いてこられました。その結果として、ここに大きな成長を遂げ、本日卒業を迎えられましたことに、心よりお祝い申し上げます。

そして専攻科の修了証書とともに、大学と同等の学士（工学）の学位が授与され、加えて、JABEEプログラムの修了証も取得されました専攻科修了生二十八名の皆さん、専攻科修了、誠におめでとうございます。皆さんは、JABEE認定のカリキュラム「システムデザイン工学プログラム」に沿って、より深い専門の学問と高度な特別研究に取組まれ、創造力や決断力を備えた実践的エンジニアとしての資質を身につけられました。皆さんが、高度の教育課程を納められ、新たな旅立ちの日を迎えられましたことは、私共の慶びとするところであります。

卒業生・修了生の皆さんを、入学以来今日まで支え、励まして来られた保護者の皆様にも、心からお祝い申し上げます。皆様におかれましては、今日という日を待ち望んでおられましたこととお察し申し上げます。今、成長されたご子息、ご息女の晴れ姿に万感の思いでご臨席戴いていることと存じます。高壇からではございますが、この場をお借りして、これまで皆様方から頂戴しました、学校の諸活動に対する多大なご支援とご協力に深く感謝申し上げます。

私ども教職員そして在校生一同は、百四十七名の本科卒業生そして二十八名の専攻科修了生の皆さんとともに、この晴れの日を分かち合いたいと思います。

本日、卒業式並びに修了式を迎えられた皆さんに、是非とも心に留めておいて頂きたいことを手短にお話しします。

一つは、卒業生、修了生の皆さんが今日あるのは自分の努力だけではないことを再認識していただき、これまでお世話になった保護者の方々をはじめ、学校の先生方、諸先輩や友人たちに感謝の気持ちを忘れないで戴きたいということです。

二つめは、これからの皆さんの生きていく、益々高度化し、多様化した現在社会での仕事や人生において、物事を俯瞰的に見つめ判断する能力を身につける、すなわち「木を見て森を見ず」ということのないように心がけることを忘れないで欲しいと思います。本校において学んだ専門および基礎学力をベースに、これから、社会において実践的技術者として、あるいは進学して大学院において更なる勉学に励む皆さん方ですが、直面する課題、状況を俯瞰的にみる力を養って戴きたいと思います。

三つめは、益々進化する情報化社会の中で、AI(人工知能)やIoT技術などに振り回される事なく、それらを駆使して社会が抱えるさまざまな課題を解決し、社会や自らの営みの中に活用できる力を身につけて戴きたいと思います。

そして、最後、四つめとして最も大切なことは、本校の学習・教育目標のひとつである「愛の精神」を持ち続けるということであります。「愛の精神」、この言葉は、本校の初代校長である松尾春雄先生が「AMOR OMNIA VINCIT」（アモール・オムニア・ビンキット）愛は全てに打ち勝つというカール・ヒルティの言葉とともに提唱され、本校で脈々と培ってきた「大分高専の魂、ここにあり」と申すべき言葉であり、本校卒業生の「合言葉」であります。どんなに科学技術が進化し発展しようとも「愛」に勝るものはなく、また「愛」あつての「科学技術」であることを忘れないでください。

四月からは、技術者として実社会に出られる方、大学や大学院に進学される方と進む道はそれぞれ異なりますが、常に、先輩たちが築いてこられた大分高専の伝統と誇りを自覚しつつ、新しい分野の開拓者にならんと使命感をもって、それぞれの未来を築かれることを願っております。そして皆さんの活躍を通して、本校の歴史に新しく、輝かしい1ページを付け加えて下さいますようお願い致します。皆さんの活躍を大いに期待しています。

最後になりましたが、本科卒業生並びに専攻科修了生はもとより、本日ここにご臨席の皆様方のご健勝と、ますますのご多幸を祈念して、告辞と致します。

令和二年三月十八日

独立行政法人国立高等専門学校機構

大分工業高等専門学校長 日野 伸 一